

対決・対案・共同をひろげ

市民との共同で請願・意見書の採択へ全力!

一市民とともに市政を動かす議員団一

党議員団は、市民の利益や平和と民主主義に反することにはきっぱりと反対し、市民から寄せられた願い・要望の実現するため、全力でとりくみました。

この4年間(15年12月議会まで)に24本4万2千068人の請願が出され、このすべての請願に賛成し、市民の願い実現に全力で取り組みました。

◆子ども医療費 無料化 拡充へ

市民の強い要望である「子どもの医療費無料化の拡充を求める請願」は、同趣旨の内容の請願が4度提出されてきました。そのたびに民主・公明・自民などが「財政が苦しい」「総合的な子育て支援が必要」などと反対してきました。党議員団も、市民と共同し無料化の拡充を求める条例提案や一般質問などを行ってきました。こうした運動の結果、小学校卒業までの通院医療費の無料化が実現しました。引き続き中学校卒業までの無料化めざし奮闘します。

◆中学給食に 自公民など反対

「京阪宇治バスの運行継続を求める請願」や「日本軍『慰安婦』問題について」など12本の請願が採択されましたが、一方、約1万人の請願者からの「中学校給食

の実現を求める請願」や、「学校図書司書の増員を求める請願」「老朽校舎の改修・少人数学級の実現を求める請願」など、市民の切実な願いに対し、「かえって過大な要望となり市の施策全体の展開を妨げる」として自民・公明・民主などが反対し採択されることできませんでした。

◆多くの意見書を提案

党議員団は、市議会の意見を国に届ける意見書も数多く提案してきました。

暴走する安倍政権の政治に対し、「特定秘密保護法案強行採決に抗議する意見書」や「憲法解釈・集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対する意見書」など、可決させるために他党派にも共同をよびかけ実現させてきました。

一方、自民・公明・民主などは、原発再稼働や介護保険法の改悪、特定秘密保護法強行、集団的自衛権行使容認など、国民の過半数が反対する問題に対し、国の悪政を推進する立場をとっています。

2015年度

予算要望書 提出

党議員団は、来年度の予算編成に際し、市民の声や意見を反映した298項目の予算要望書を市長に提出しました。

1月21日提出時には、木村副市長が議員団の要望に対し、「財政的に明るい材料は少ないが、要望書は精査し検討したい」と対応しました。

△要望書より抜粋

●重点要望 (18項目)

- ・国民健康保険料を引き下げ、公共料金を引き上げないこと
- ・子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること
- ・「市集会所を廃止する条例」は廃止すること
- ・中学校給食を実施すること
- ・介護保険料利用料の軽減をおこない、特別養護老人ホーム増設など施設を充実させること
- ・公契約条例を制定すること
- ・子ども権利条例を制定すること
- ・太閤堤跡歴史公園整備は、歴史遺跡保存に限定し PFI 方式はやめること

●国・府への要望 (32項目)

●部局別要望 (163項目)

- ・西消防署を早期に建て替えること
- ・市集会所の施設改修、新設、維持修繕費を増額すること
- ・二子山の開発構想はストップさせること
- ・駅と公共施設をつなぐバス路線を充実すること
- ・学校図書予算を増額し、全校に司書を配置すること
- ・就学援助制度の支給基準を改定前にもどすこと

●地域別要望 (85項目)

議員団だより 号外

2015. 1. 25 発行
宇治市宇治琵琶33 市役所内
Tel 22-3141 Fax 24-7884